

## 旅のお供に海外旅行保険！？

国際部 矢野 浩史

皆様は海外渡航される際に海外旅行保険には加入されますか。海外旅行中に被ったケガや病気による死亡・後遺障害・治療費用のほか、賠償責任、携行品損害、救援者費用などを補償する保険です。保険があることは知っていても「クレジットカードに付帯されているから大丈夫」とか「生命保険には入っているから死んでも家族にお金を残せる」などと意外に加入しないという声を聞きます。今回は海外旅行保険の事故データやクレジットカード付帯保険との違い、便利なサービスなど海外旅行保険の情報をまとめてみました。

### 事故発生率と補償項目別事故発生割合

「海外旅行保険のエキスパート」ジェイアイ傷害火災が公表している同社の2019年度の海外旅行中の事故発生率(保険支払件数/保険加入者数)は4.14%となっています。これは24人に1人が何らかの事故に遭っている計算です。

海外では、気候や衛生環境等が異なること、また長時間の移動や時差等により体調を崩しやすく、併せて犯罪率が日本と比較して全般的に高いことから事故に遭いやすい状況にあることを示しています。

海外旅行保険で最も事故件数が多い補償項目は「治療・救援費用」(事故発生割合47.8%)で、ケガや病気による治療費用、救急車等の交通費や医療通訳費、入院した際に家族が現地に駆けつける場合の渡航費用、日本や第三国までの医療搬送費用等を補償します。

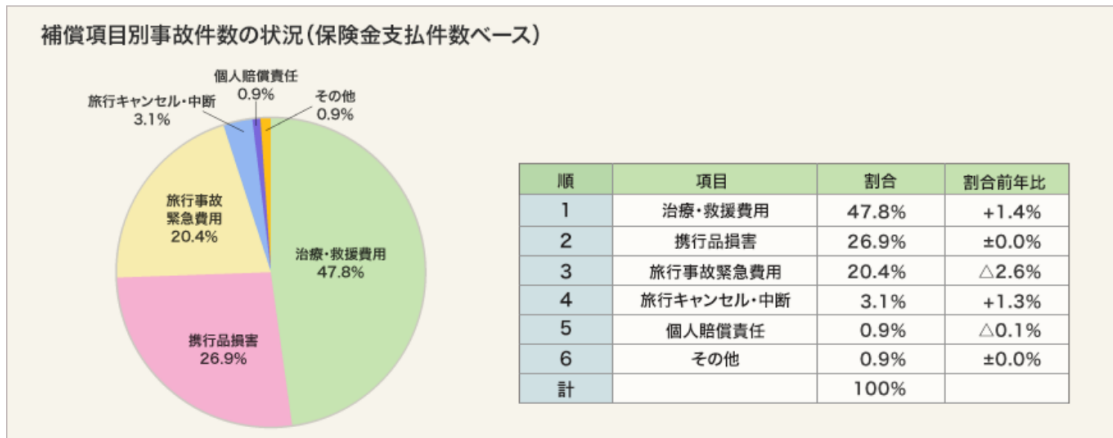
次いで多いのが「携行品損害」(事故発生割合26.9%)であり、パスポート、スーツケースやカメラ、携帯電話等の手荷物の盗難や破損を補償します。

3番目は「旅行事故緊急費用」(事故発生割合20.4%)であり、航空機の遅延や欠航、航空会社に預けた手荷物が現地に届かない等、予期せぬ偶然な事故により負担を余儀なくされた費用(交通費、宿泊費、食事代、身の回り品購入費等)を補償します。

上位3項目で、全体の95.1%に達しています。海外旅行保険の最も重要な役割が、旅先でのケガや疾病の治療費等の身体に関わる補償であることは変わりませんが、手荷物の破損や航空機の遅延時等、様々なトラブルに対し海外旅行保険が利用されていることがわかります。

一般的に保険に加入するときに気にしがちな死亡保険事故は傷害でも疾病でもほとんど発生していないというのも特筆すべき点です。

## ジェイアイ傷害火災保険HPより



注) 記載の以下項目は ( ) 内を含みます。

- ①治療・救援費用 (傷害治療費用、疾病治療費用、救援者費用、疾病応急治療・救援費用)
- ②携行品損害 (生活用動産)
- ③旅行事故緊急費用 (航空機遅延、航空機寄託手荷物遅延)
- ④個人賠償責任 (家族総合賠償責任)

注2) 上記「旅行キャンセル・中断」とは「旅行キャンセル費用」、「旅行中断費用」を合わせた項目となっております。

### 高額医療費用事故(治療・救援費用保険金支払)

海外では日本に比べ治療費が高額になるのが一般的です。例えば、ホノルルやロサンゼルスなどで盲腸(虫垂炎)の手術をして入院すると、数百万円かかるといわれています。また、日本では盲腸(虫垂炎)で手術すると1週間程度の入院が必要になるのですが、ホノルルやロサンゼルスでは平均入院日数が2日になるようです。また、海外の医療事情は日本とは大幅に異なり、医療機関に対して治療費の支払い能力の証明ができない場合(海外旅行者の場合、海外旅行保険を契約していないなど)には、全く治療が受けられないこともあるようです。

各保険会社のホームページを見ると治療救援費用の支払いが1,000万円を超えるような事故例も示しており、自身に合った最適なプランの加入を促しています。このような海外の治療費が高額になってしまう状況に対応して、ケガや病気の治療費用の補償について、保険会社によっては保険金額の設定を無制限とする商品も用意しています。

## AIG損保HPより

<p>事故例.1 ハワイ</p>  <p>約2,374万円</p> <p>脳卒中で倒れICUに緊急搬送。 17日間現地で入院の後、 医療専用機で日本へ搬送。</p>	<p>事故例.2 オーストラリア</p>  <p>約2,402万円</p> <p>ホテルの4Fの窓から転落。 駐車場の車の上に落下。 下肢骨折、意識不明となる。</p>	<p>事故例.3 カンボジア</p>  <p>約634万円</p> <p>観光中に遺跡から転落、右後頭部 骨折。 タイへ緊急搬送後、ICUで治療。 ドクター付き添いのもと、車椅子 で帰国。</p>
<p>事故例.4 フランス</p>  <p>約993万円</p> <p>道でつまづき転倒、大腿骨骨折。 看護師と共に、ビジネスクラス にて帰国。</p>	<p>事故例.5 アメリカ</p>  <p>約5,105万円</p> <p>急性心筋梗塞で倒れる。現地で2度 の手術を受け、約40日入院。 医療専用機で日本へ搬送。</p>	<p>事故例.6 アメリカ</p>  <p>約2,804万円</p> <p>バイクツーリングツアー中に転倒。 前腕・骨盤骨折、脾臓出血、肺気胸と 診断。現地で手術後、看護師と共に、 ビジネスクラスにて帰国。</p>

### クレジットカード付帯保険への十分な適用確認を

クレジットカードには、海外旅行保険が付帯されていることがあります。ただし、クレジットカードの所有者すべてが対象となるとは限らず、また補償内容が十分でないこともありますので、下記の点などについて事前に確認し、必要に応じて、別途海外旅行保険を契約する必要があります。

#### 1. 海外旅行保険が適用される条件の確認

クレジットカード付帯の保険が、適用される条件を確認する必要があります。クレジットカードの種類によっては、旅行代金などをそのクレジットカードで支払った場合のみ、海外旅行保険の適用対象になるとしている場合があります。

また、新規にクレジットカードに入会した場合には、一定期間後に出発する旅行から、海外旅行保険の適用対象となる場合もあります。

#### 2. 保険期間、保険金額、補償の範囲・対象の確認

クレジットカード付帯の保険の場合、適用される保険期間が限られていることがありますので、長期間の海外旅行の場合には、保険会社から販売されている一般の海外旅行保険を契約することが必要です。

海外の医療制度は、国民皆保険制度を採用している日本とは違うため、医療費が高くなることが考えられます。アメリカのマンハッタン区の医療費では、初診料が150～300米ドル、入院したら室料が1日2,000～3,000米ドル、さらに治療費や手術費などがかかるようです(2021年4月時点)。そのため、旅行先のケガや病気で数百万～数千万円の高額な医療費が発生してしまった場合、海外旅行保険で補うことができるのか不安に感じる状況に陥ることが想定されます。

#### 損保ジャパンHPより(クレジットカード付帯保険の例)

	クレジットカード A社	クレジットカード B社	クレジットカード C社
傷害死亡 後遺障害	2,000万円	2,000万円	2,000万円
疾病死亡	-	-	-
治療費用	200万円	100万円	100万円
賠償責任	2,000万円	2,000万円	2,500万円
携行品損害	20万円	20万円	20万円
救援者費用	200万円	100万円	150万円

#### 海外旅行保険で提供しているサービス

海外でケガをしたり病気にかかったり治療を受ける場合には、様々な問題が発生してくることが考えられます。

具体的には、どこの医療機関で治療を受ければ良いのかが分かりにくいということ、高額な治療費をその場で支払うことが可能かどうかということ、そして症状の説明や治療方法など専門的な医療用語について外国語でコミュニケーションが図れるかどうかということなどが考えられます。こうした事態に対応するため、海外旅行保険では、保険金を支払うという保険商品としての本来的な機能のほかに、次のようなサービスを提供しています。

##### 1. 病院や医師の紹介・予約

保険会社では、日本からの旅行者が多い海外主要都市に駐在窓口を設置したり、コレクトコールによる国際電話を通して24時間・年中無休体制でのサポートデスク

ク(コールセンター)を国内に設置したりするなど、言葉や習慣が異なる海外で契約者がトラブルにあったときなどに、直接対面または電話で日本語による対応サービスを行っています。これにより、最寄りの病院やより設備の整った専門の医療機関の紹介・予約を受けることができるようになっています。

## 2. キャッシュレス治療の手配

保険会社では、現地で開業している病院や医療機関の評判、経営状況などをあらかじめ調べて、適切な病院や医療機関を選定したうえで提携交渉を行っています。具体的には、契約者がケガや病気で治療を受けた際には、保険会社に治療費用を直接請求してもらうことが可能かどうかを交渉します。交渉がまとまった病院や医療機関には治療費用を保険会社が直接支払うこととなりますので、契約者は高額な現金を持ち歩くことなく、また立替払いの必要もなく、キャッシュレスで安心して治療を受けることができます。

## 3. 医療通訳の手配

保険会社は、必要に応じて受診時に通訳の派遣を手配します。電話による医療通訳サービスもあります。

## 4. その他のサービス

上記の他に、病人・ケガ人の緊急移送の手配、救援者の渡航手続き・ホテルの手配、パスポートを紛失または盗難の場合のサポートなどのサービスがあります。

## まとめ

以上の内容から海外旅行でのリスクに備えるための確認項目を再度整理します。

- ・海外旅行保険の事故で件数割合が高いのは死亡や賠償責任ではなく治療・救援費用である。
- ・海外での治療費用は日本国内とは比較にならないほど高額になる。
- ・クレジットカード付帯海外旅行保険は適用条件を事前に確認する必要がある。
- ・クレジットカード付帯保険で補償が不十分と思われる項目は別途保険加入する方が良い。
- ・海外で体調不良などの保険事故に遭遇した場合、自分で解決しようとする前にサポートデスクに連絡をいれ対応依頼する方が安心である。